

河川環境教育に関する講習会の実施報告

－ 中央区総合環境講座にて －

自然環境グループ 研究員 白尾 豪宏

1. はじめに

令和4年6月22日に、東京都中央区立環境情報センターからの依頼を受け、「川に自然を取り戻す！自然再生について」のタイトルで中央区総合環境講座にて講師を務めた。

本講座は、東京都中央区が主催する18歳以上の区内在住・在勤・在学者を対象として、定員30名、参加費無料で実施する環境学習の一環である。内容は地球規模から身近なスケールまでの環境問題を全9回の連続講座で学ぼうという、中央区らしい非常に先進的な取り組みである。講座内容はSDGsや脱炭素、あるいは南極から見た地球環境といった多方面に渡る興味深いラインナップとなっており、当然講師陣も一家言ある名だたる面々が名を連ねていた。僭越ながらその中で、私の担当講座は全9回の初回であった。開催時刻は18:30～20:30の2時間で、平日の夜にも関わらず、会場には環境問題に関心の高い男女17名の方々が足を運んで下さり、傍聴していただいた。

に展開しようかと考えた。しかしながら、下見で訪れた中央区立環境情報センターの洗練されたデザインに大いに影響を受け、グローバルな視点として2021年6月の「自然協約2030」G7合意、「ネイチャーポジティブ」、「生物多様性ネットゲイン」などの話題を追加した後、「日本の川の特徴」、「日本の川づくり」、「中央区の水辺」といったより身近な話題へ移行する構成とした。



当日の状況

講習内容として準備した話題は以下のとおりである。詳細は誌面の都合上割愛するが、これらの内容は、主に国土交通省による既出の河川環境資料や多自然川づくり、河川環境の評価指標等の内容に絡めて話題提供とさせていただいた。特に伝えなかったこととして、川はそれ自身が生き物であり洪水や植生遷移によって常に環境の変動を繰り返していること、洪水という攪乱が河川環境の維持機能として不可欠であることを強調した。

1. 環境をとりまく世界の動き
2. 日本の川の特徴
3. 川らしい自然環境とは
4. 氾濫原
5. 外来生物
6. 日本の川づくり
7. 中央区の水辺
8. 汽水域の自然再生
9. 都市における自然の価値
10. 水辺の小さな自然再生

中央区のレゾナンス
環境講座

令和4年度
全9回
環境問題、SDGsとビジネス・生活・世の中！

今年度のテーマー環境問題、SDGsとビジネス・生活・世の中！

第1回 環境をとりまく世界の動き
第2回 日本の川の特徴
第3回 川らしい自然環境とは
第4回 氾濫原
第5回 外来生物
第6回 日本の川づくり
第7回 中央区の水辺
第8回 汽水域の自然再生
第9回 都市における自然の価値

6月22日(木)～12月7日(木)全9回 環境情報センター研修室 他
18歳以上の区内在住・在勤・在学者で受講に出席できる方
30人 無料 5月21日(土)～6月15日(木)
電話・窓口・環境情報センターのHPのいずれかでお申込みください。

中央区立環境情報センター
TEL/03-6225-2433 FAX/03-6225-2699
https://env.chiyoda.jp/

2. 講習内容

講習内容は、当初、江戸時代の運河網からなる中央区にちなみ、汽水環境での川の自然再生を中心

3. おわりに

講習会を通じ、参加者が熱心にメモをとる姿に、発表する私も大いに刺激を受けた。川の自然環境の向上には、行政の取り組みも重要であるが、何よりも流域に暮らす個人の想いがドライビングフォースになることは間違いない。今後ともこうした方々のお力添えになることで、川の自然再生の力になれば幸いである。最後に貴重な体験の機会を設けて下さった中央区立環境情報センターのスタッフの皆様には心よりお礼申し上げたい。